

名瀬たかの台地区の計画づくり

●地区の特性

当地区は戸塚区の北東部、名瀬川の源流域にあたり、北西側は泉区に隣接しており、緑園都市駅までは徒歩で約 15 分です。周辺は社寺林やゴルフ場の緑に接しており、「横浜市緑の基本計画」では緑の七大拠点の一つ（大池・今井・名瀬拠点）に位置づけられています。昭和 40 年代に開発された戸建て団地で、隣接するエステアベニューとともに、緑の海原に浮かぶ人工の島的な印象を持ちます。自治会活動は活発で、同時に、「熟年クラブ」「しらさぎ会」「ラブリーなせ」などによって地域住民相互の助け合い活動と交流を積極的に行っています。

○区域図



●地区の緑の魅力

- ・多くの住宅は建て替え更新が進んでいますが、庭木は開発された当初から手塩にかけてきたものをそのまま活かしている敷地が多く見られます。
- ・地区内には公共オープンスペースとして2箇所の街区公園が立地します。2箇所とも公園愛護会がしっかりした活動をしています。特に自治会館（しらさぎ会館）が隣接する名瀬町第一公園は、コミュニティとしての様々な利用が図られています。
- ・名瀬川支流の源流部が地区の南側・東側を通っています。共に豊富な水量が流れ、南側はせせらぎとして整備されていますが、東側は三面張りの開渠となっています。

●地区の緑の課題

- ・立派な庭は道路から一段高いよう壁の上に位置するため、道行きの視線からは目が届きにくく、アイレベルにあるよう壁が硬い表情の街並みを形づくっています。元々は大谷石であったよう壁も劣化が激しく、近年ではコンクリート製の垂直なものなどに改修されてきています。
- ・町の最奥部に位置する名瀬町第二公園は、道路から一段高い敷地内が大きく茂った高木によって見えづらいなど、孤立的な感じは否めません。

●地区の諸元

地区面積：約 4.5ha / 人口：約 800 人 / 用途地域：第 1 種低層住居専用地域 / 緑やまちづくりに関する既往の計画や活動等：公園愛護会 / 計画策定の母体となった地元の組織：名瀬たかの台自治会

●計画策定のプロセス

自治会長を座長とし、自治会役員および公募によって選出された計 14 名によるプロジェクトチームを結成して地域緑化計画を検討しました。プロジェクトチームに横浜市環境創造局および戸塚区役所の担当者、地域緑のまちづくりコーディネーター、緑化コンサルタントの参加を得て協働型で行われた検討会は、平成 22 年 2 月のキックオフミーティングを皮切りに計 19 回開催しました。

この間、平成 23 年 7 月には、団地入口に設置された街区名称板周辺のような壁面と、長いよう壁を持つ角地敷地においてモデル緑化を行いました。

検討結果は、随時、自治会役員会に諮りつつ地区の合意を形成し、自治会ニュースを通じて、随時、検討状況を地区住民に知らせるとともに、時には号外として特集的に地域緑のまちづくりについて広報に努めました。

その後、自治会組織内に緑のまちづくり推進団体「名瀬たかの台地区みどりのまちづくり会」を組織して地域緑化計画を策定、事業の推進を図りつつ、基本方針に従って事業内容の審査等の任にあたるべく、横浜市との事業協定の締結に至りました。

○メイン通り沿道現況調査（一部）



○たかの台ニュースで広報

たかの台ニュース【号外】 NO.1
発行：たかの台自治会「地域緑のまちづくり」実行委員会

～花と緑があふれるまち・たかの台へ～まちの魅力アップ！

たかの台を緑化をテーマにもっと魅力的なまちにするため、昨年度から横浜市環境創造局の「地域緑のまちづくり事業」に取り組んでいます。たかの台は、名瀬川が流れ、樹林地に隣接した緑の多い地区ですが、今ある緑を守りつつ、もっとまちのあちこちで花や緑を増やし、「花と緑があふれるまち・たかの台」へ魅力アップしていきたいと考えています。

花と緑を育てることで、今まで育んできた地域のつながりをさらに高め、子どもから高齢者まで住みやすいたかの台にしていきたいですね。

検討会の内容

これまでに8回の検討会を開催しました。

第1回	3月26日	キックオフミーティング、事業の概要説明
第2回	4月8日	まち歩き、地域緑のまちづくりの「種」の抽出
第3回	5月11日	事業の方向性の検討
第4回	6月18日	緑化計画の基本的考え方の整理、モデル緑化緑地の抽出
第5回	7月20日	モデル緑化緑地の現地調査と緑化アイデアの検討
第6回	8月17日	優先数種（モデル緑化）候補地区の緑化イメージ検討①
第7回	9月21日	緑化イメージ検討②、事業化のプロセスと実施の仕組みの説明
第8回	10月19日	緑化計画の基本的考え方のイメージ

名瀬たかの台地区の各戸の個性を尊重しながら、みんなで心を合わせて「花と緑のまち：名瀬たかの台」を充実させていきたいと考えています。

魅力的な緑の「種」

第2回の検討会（4月8日開催）では、まち歩きを行い、緑の「種」探しをしました。さまざまなお宅で実施されている魅力的な緑の事例がいくつもありました。ほんの一例ですが、参考にご紹介します。

名瀬たかの台地区の地域緑化計画

●緑化の方針と緑のルール

花と緑があふれるまち・たかの台へ

各戸の個性を尊重することを前提にしつつ、皆で心を合わせて、「花と緑があふれるまち・たかの台」を充実させていきます。

- ①具体的な実例を見せながら、地域住民の緑化意識を啓発していく活動を継続的に行っていきます。
- ②民有地緑化については、道路に直接面する境界（よう壁等）の部分に目を向けます。特に、メイン通りなど緑化効果をアピールしやすい部分を優先して進めます。
- ③その際、まち全体で、各戸が楽しく競える方法を工夫して取り組みます。
- ④また、雨水貯留や水路を利用した灌水システムなどによって、自然の恵みを活用したエコロジカルな緑の育成環境を整えていきます。
- ⑤公有地緑化については、地区内の公園や水路等に目を向け、さらに緑環境を充実させ、地域住民自らが使いながら楽しく育てる空間としていきます。
- ⑥将来的には、周辺のすばらしい自然環境へと目を広げていきます。

●緑化整備計画

緑化項目	整備 か所数	民有地	公有地
A：町の要となる玄関空間を花や緑で彩る ①団地入口街区地図周囲の緑化	1件	●	
B：メイン通りの沿道空間を花や緑で彩る ①よう壁部の下垂型緑化 ②玄関廻りや窓辺のプランター類による緑化 ③特徴ある庭木の充実	41件 (全街区数)	●	
C：その他通りの沿道空間を花や緑で彩る ①よう壁部の下垂型緑化 ②玄関廻りや窓辺のプランター類による緑化 ③特徴ある庭木の充実	270件 (全街区数)	●	
D：名瀬町第二公園周辺と東側水路部を憩いの空間として再整備する ①第二公園周辺の再整備 ②東側水路部を中心とする空間整備	1か所 150m		● ●
E：緑を維持管理するための設備を充実する ①沿道街区への灌水装置の設置 ②維持管理用倉庫の設置	20件	● ●	

○モデル緑化の実施イメージ



○実施された直後のモデル緑化



●維持管理活動計画

地区の緑のまちづくり活動として「名瀬たかの台地区みどりのまちづくり会」を組織し、会員相互に協力し、創意工夫し、以下の考え方に則って、緑豊かで快適な魅力あるまちづくりを推進していきます。

- ①地域緑のまちづくり意識を啓発します。
- ②地域緑のストックとなる緑化を心がけます。
- ③地域の緑維持管理チームを結成します。

●地域緑化計画図



○メイン通りの沿道空間を花や緑で彩るイメージモニタージュ



○名瀬町第二公園と東側水路部を一体化した憩いの空間整備構想（今後、施設管理者と協議します）

